

# まちづくり

## 歩くまち

~ひとと公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現を図る~

### 基本方針

市民、事業者、行政が一体となって「歩いて楽しいまちづくり」を推進することにより、  
クルマを重視したまちとくらしを、京都にふさわしい「歩く」を中心としたまちとくら  
しに力強く転換していく。

### みんなでめざす10年後の姿

- ① 市民、事業者、行政の一体となった取組により「歩くまち・京都」が進展している
- ② 使いやすい公共交通の構築や新たな公共交通の整備が進んでいる
- ③ 「歩くまち・京都」を支える歩きたくなるようなまちとなっている
- ④ 自動車利用の抑制策が定着し、自動車交通の効率化と適正化が図られている
- ⑤ 地下鉄、市バスが市民の足として重要な役割を果たしている
- ⑥ 自転車利用の環境整備及びマナー、ルールが確立している

#### 市民と行政の役割分担と共汗

- 事業者の連携によりネットワークを構築し、公共交通の利便性を向上
- 市民目線に立った公共交通利用のための情報を提供

#### <共汗の方向性>

市民、事業者、行政が  
一体となって交通ま  
ちづくり政策を進め  
る



- ひとりひとりが歩くくらしを大切にし、マイカー利  
用から公共交通機関利用に交通行動スタイルを転換



### 推進施策

- ① 世界トップレベルの使いやすさをめざした公共交通の再編強化
- ② 歩く魅力を最大限に味わえるような歩行者優先のまちづくり
- ③ 歩いて樂しいくらしを大切にするライフスタイルへの転換（「スローライフ  
京都」大作戦）
- ④ 地下鉄の魅力向上とまちづくりへのさらなる活用
- ⑤ 歩行者と共存可能な自転車利用の促進



#### 「攻め」と「対話」でたくさんの御意見を聴取

「基本計画のパブコメ（=パブリック・コメント）を集めること」というミッションを与えられたパブコメ部隊。まず、対象を「パブコメを書いたことがない人」に絞り、「攻めのパブコメ」、「対話のパブコメ」と2つのテーマのもとに、「パブコメくん」の制作から市内各地での意見回収箱の設置や出前パブコメなどなど…積極的な行動で第1次案では322名、第2次案では568名とたくさんの方々に御意見を頂きました。皆さんの御意見が未来をつくっていくと思うとワクワクします。



未来の担い手・若者会議U35委員  
パブコメ部隊リーダー  
さとうひさみさん  
(NPO法人アート・プランませさせ代表)

# 土地利用と都市機能配置

～地域ごとに魅力があり、持続的な都市活動を支えるエコ・コンパクトな都市\*をつくる～

\* エコ・コンパクトな都市：地球環境への負荷が小さい、まとまりのある土地利用を図ることにより実現される、にぎわいのある、くらしやすい都市

## 基本方針

人口減少や少子高齢化、低炭素社会実現への対応などの社会動向を見通し、都市を効率的に経営する視点をもちながら、「保全・再生・創造」の都市づくりを基調として、地域ごとの特性を生かすための多彩で個性的、かつ秩序ある土地利用の展開や、地球環境への負荷の少ない集約的な都市機能の配置を図ることにより、さまざまな都市活動を持続的に展開することのできる都市を実現する。

### みんなでめざす10年後の姿

- ① 便利でくらしやすい生活圏がネットワークする都市
- ② にぎわいのある魅力的な商業・業務地域
- ③ 京都の新たな活力を担う南部地域
- ④ 個性豊かで魅力的なまちの創出
- ⑤ 自主的なまちづくりのルール化やマネジメントの展開

#### ■市民と行政の役割分担と共に



## 推進施策

- ① 便利でくらしやすい生活圏づくり
- ② 商業・業務機能が集積したにぎわいのある魅力的なまちづくり
- ③ 創造を続ける南部地域のまちづくり
- ④ 市内各地における個性豊かで魅力的なまちづくり
- ⑤ まちづくりを支えるしくみづくり

子どもたちが  
描く未来  
京都のまち

小学校3~6年生の部  
市長賞 吉井 遼佳さん



将来は鉄道や道路が地下に、  
地上は自然と歴史がいっぱい  
のすてきなまちに！

伝統と発展する  
「エコ未来京都」に！



市長賞  
大村 健人さん

# 景観

～1200年の歴史・文化を実感でき、世界のひとびとを魅了し続けるまちとなる～

## 基本方針

京都の個性や魅力の源は、歴史や文化であり、そしてそれらを表象する美しい景観である。この優れた京都の景観を守り、育て、つくり、そしてこれらを生かしていくことにより、日本を代表する歴史都市・京都の魅力や価値を高め、50年後、100年後も京都が京都であり続けるため、市民と行政との協働により、時を超えて輝く京都の景観づくりを推進していく。

### みんなでめざす10年後の姿

- ① 品格のある優れた町並み景観が広がりつつある
- ② 地域の絆に支えられ安心してくらせるまちづくりが進んでいる
- ③ 京町家のくらしや空間、まちづくりの文化が継承・発展されている
- ④ 魅力あふれる美しい公共空間が創出されている
- ⑤ 緑や水辺の整備による四季を楽しめるまち

#### 市民と行政の役割分担と共に

- 良好的な景観形成に関する積極的な事業の取組や推進
- 地域への参加・交流と地域対応型事業の取組や推進



- 良好的な景観の形成に関する積極的な取組
- 地域の身近な環境整備やコミュニティ形成への取組

#### <共汗の方向性>

各主体の連携・役割分担による美しい景観形成の推進



行政

- 良好的な景観形成に関する施策の展開
- さまざまな支援（制度面、財政面、教育面など）
- パートナーシップ型の景観・まちづくりの環境整備

## 推進施策

- ① 山紫水明の自然景観の保全
- ② 品格のある市街地景観の形成
- ③ 歴史的な町並みや京町家等の保全
- ④ 無電柱化等による魅力あふれる道路空間の創出
- ⑤ 市民とともに推進する景観まちづくり

### 繋がりが力を生み出すまちづくりの過程を体験

どうすれば市民に基本計画を知っていただけるかを毎週議論し、プライベートでも集まるうちに、若者会議のメンバーと仲間になることができました。新しい仲間ができてすごくうれしい。イベント企画部隊のリーダーとして、個性的な皆さんをまとめるのには苦労しましたが、それゆえイベント終了後には充実感がありました。

仲間が繋がると、団結力が生まれ、市になり、府になり、国になるという、まちづくりの過程を体験しました。



未来の担い手・若者会議アンダーグラウンド  
竹内弘一さん  
(KDDI京都キャスター)



# 建築物

～建築物の安全の確保と質の向上で、ひとにやさしく、安心なまちをつくる～

## 基本方針

建築物にかかる災害や事故から市民を守り、だれもが日々安心し、いきいきとくらすことができ、充実した社会活動を展開できるひとにやさしいまちの実現をめざし、市民と行政の役割分担と協働の下で、新築建築物及び既存建築物の両方について、安全で、環境に配慮され、だれもが使いやすい建築物にしていく。また、建築物の先導的な役割を果たすべき公共建築物においても、適切で計画的な維持管理や有効活用を図る。

### みんなでめざす10年後の姿

- ① すべての新築建築物について検査済証が取得されている
- ② 建築物が安全かつ快適に活用されている
- ③ 地震、火災、事故による被害が減少している
- ④ 災害に強いまちづくりが進展している

### ■市民と行政の役割分担と共汗

- 建築物の安全性や環境品質に対する関心と責任をもつ
- 建築物の所有者みずからが主的に耐震化等の安全対策や環境性能等の質の向上に取り組む



- 専門的な知識や組織力を生かし、情報発信、普及啓発その他建築物の安全確保と品質向上を図る取組を行政とともに実行

- 法令遵守を徹底することはもとより、安全で高品質な建築物を供給
- 市民に対して建築物の安全や品質等の性能に関する正確かつ適切な情報提供

- 地域特性や緊急性、公益性を十分に考慮しながら、建築物にかかる機関や団体との適切な役割分担、連携の下に、情報提供、支援制度、環境整備等、建築物の安全確保と品質向上を効果的に促進する施策を推進

## 推進施策

- ① 安全な新築建築物の供給
- ② 既存建築物の安全性の向上
- ③ 細街路対策による災害に強いまちづくり
- ④ 環境に配慮され、だれもが使いやすい建築物の誘導
- ⑤ 公共建築物の先導的整備

# 住宅

~ひとがつながる 未来につなぐ  
京都らしいすまい・まちづくりを継承・発展させる~

## 基本方針

京都の財産である環境、景観、コミュニティを継承・発展させ、京都のアイデンティティ\*の確立による京都のすまいの将来像とあり方を示すとともに、防災・減災、住宅セーフティネット(安全網)の構築を効果的に進めるため、市場の機能を生かした住宅政策を展開する。

\* アイデンティティ：都市を特徴付ける個性や独自性

### みんなでめざす10年後の姿

- ① 良質な住宅が住み継がれている
- ② 地域コミュニティの活性化が進んでいる
- ③ 既存住宅の流通が活性化している
- ④ 重層的な住宅セーフティネット(安全網)が構築されている

#### ■市民と行政の役割分担と共済



## 推進施策

- ① 京都らしいすまい方の継承
- ② 住宅ストックの良質化のための適正な維持管理や更新の支援
- ③ 既存住宅の流通活性化のための条件整備
- ④ 住宅・住環境の安全性の向上
- ⑤ 重層的な住宅セーフティネット(安全網)の構築
- ⑥ 中・大規模の市営住宅団地のマネジメント

### 小さな活動が京都全体を取り巻くような大きな波に

食空間コーディネーターとして食卓を介した地域貢献を模索していたところ、京都の伝統工芸品を使ってお節句や歳時記を伝え、今の生活様式にあう使い方の提案をライフワークにしたいと、この意思をマニフェストに込めて応募しました。

古き良きものを保ちながらも変化し、伝統とモダンを上手に融合させていく京都。それに気付いた人たちの小さな活動が京都全体を取り巻くような大きな波に変わっていくことを切に願います。



若者提案  
「私たちの京都のマニフェスト」方長賞  
澤渡靖代さん

# 道と緑

～風土や歴史と調和した道と緑を創造する～

## 基本方針

市民の視点に立った道路、橋りょう、公園等の社会資本の整備及び市民や行政が一体となった維持管理、補修を行うことにより、山紫水明の地の風土や千年の都としての歴史と調和した道と緑を創造する。

### みんなでめざす10年後の姿

- ① 安心・安全な幹線道路ネットワークが形成されている
- ② きめ細かな緑のネットワークが形成されている
- ③ 社会資本が良好に保たれている
- ④ 魅力ある都市空間の形成が進んでいる

#### ■市民と行政の役割分担と共済

- 組織的で充実した美化・緑化活動や新たな街路樹整備に向けた協力
- 魅力ある道路や公園など安心・安全で住み心地のよいまちづくりへの協力

### <共済の方向性>

市民の視点に立った社会資本の整備及び市民や行政が一体となった維持管理、補修を行うことで、風土や歴史と調和した道と緑を創造する

- 計画策定期から事業に関心をもつことにより、真に必要な事業への理解と協力
- 道と緑に関心をもち、伝統的知恵である打ち水やかど掃き等による日常的な清掃など維持管理への積極的参加

#### 企業・事業者

#### 行政

- 計画策定期から市民参加を前提とする情報提供や意見交換
- トータルコストを縮減しながらの安心・安全な維持管理

## 推進施策

- ① 幹線道路ネットワークの充実
- ② 健やかな生活が実感できる緑化の推進
- ③ 都市活動を支える社会資本の維持管理
- ④ まちのにぎわいと潤いを創出する市街地環境の整備



### 京都の明るい未来像について 夢をもって話し合うきっかけに

大人でも子どもでもぱっと見てすぐイメージが共有できるような、シンプルで大胆な提案を考えました。

京都の明るい未来像について皆さんのが夢をもって話し合う、そのきっかけになれば嬉しいです。



「京・未来予想図」市長賞作品

## 基本方針

京都に息づいている「人間力」に支えられた「地域力」を結集し、行政と一体となった防火・防災活動を推進する。また、あらゆる災害に迅速的確に対応する消防、防災、救急体制を確保し、だれもが安心して住み続けられる「安心都市・京都」をめざす。

### みんなでめざす10年後の姿

- ① 火災件数、火災による死者の数が減少している
- ② 貴重な文化財を守るために防火・防災対策がさらに進められている
- ③ 最新の機材の導入等により、消防活動がより強固なものになっている
- ④ 応急手当の普及啓発や救急活動体制の強化により、救命効果が上がっている
- ⑤ 地域の災害対応力が向上し、大規模災害発生時の被害が最小限に抑えられている

#### ■市民と行政の役割分担と共汗

- 防災行動計画の充実等自主防災活動のさらなる強化
- 地域の防火防災活動や救命講習に積極的に参加し、ひとりひとりの災害対応力を向上

#### 事業所

- 消防法令を遵守し、自主的な防火管理を推進
- 自衛消防体制の確保や災害時における市民、行政等との連携体制の確立

#### <共汗の方向性>

「みずから身の安全はみずからが守る」を基本に、市民、事業所及び行政が一体となった防火防災活動を推進し、災害に強くだれもが安心して住み続けられる「安心都市・京都」をめざす

#### 行政

- 消防団、防災関係機関、市民、事業所等と連携し、情報を共有を図りながら、災害に強い安心・安全なまちづくりを推進
- あらゆる災害に迅速的確に対応する消防、防災、救急体制を確保

## 推進施策

- ① 火災を未然に防止して市民のいのちとくらしと財産を守る予防消防の推進
- ② あらゆる災害による被害を最小限に抑える消防活動体制の充実強化
- ③ 市民への応急手当の普及啓発と救急体制の充実による救命効果の向上
- ④ 地域の災害対応力の向上をはじめとする防災危機管理体制の充実

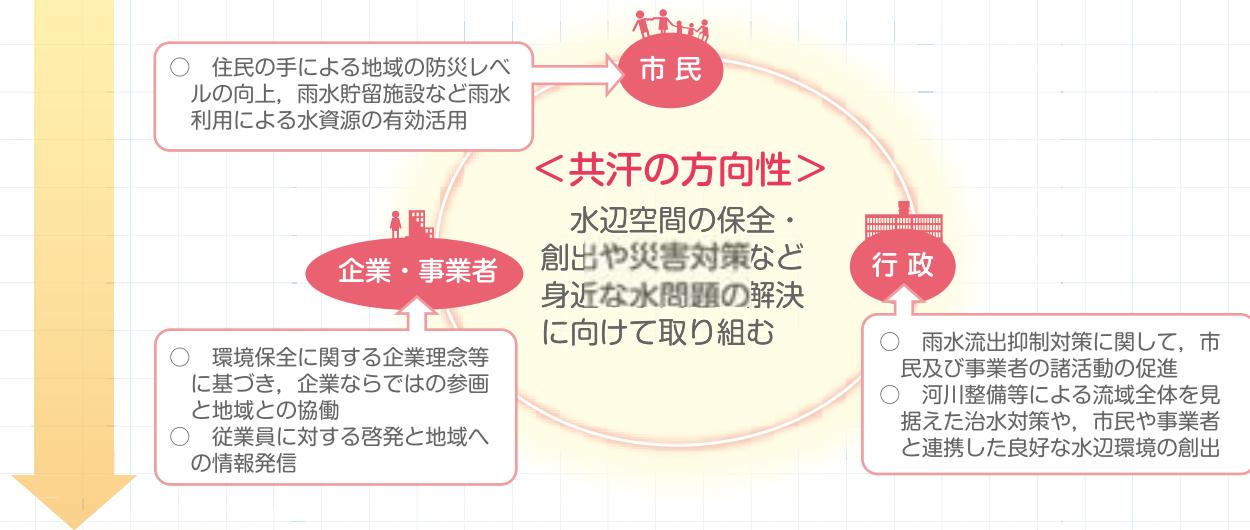
## 基本方針

市民のライフライン(生活線)として重要な水道・下水道は、河川とともに、都市の基盤施設であると同時に琵琶湖・淀川水系における水循環の一翼を担い、流域全体の水環境の保全に大きな役割を果たしている。安全・安心で良質な水道水を安定的に供給する水道、大雨による浸水被害からまちを守るとともに快適で衛生的な都市生活を支える下水道、治水対策を推進し、あわせて都市に親水空間を生み出す河川について、“くらしの水”に関する機能の充実・向上を図りながら、未来の京都に引き継いでいく。

### みんなでめざす10年後の姿

- ① 安全・安心で環境負荷の少ない水道・下水道、安全で親しまれる河川となっている
- ② 上下水道サービスの向上が図られている
- ③ 上下水道事業の財政基盤の強化が図られ、安定した経営が行われている
- ④ 浸水被害の発生が大きく低減し、潤い豊かな都市景観を備えたまちとなっている
- ⑤ 水に関する市民意識が高いまちとなっている

#### ■市民と行政の役割分担と共に



## 推進施策

- ① 安全・安心な水道・下水道の構築
- ② 環境負荷の少ない水道・下水道の構築
- ③ 水道・下水道の機能維持・向上
- ④ 市民ニーズに対応した上下水道サービスの推進
- ⑤ 上下水道事業の経営基盤の強化・安定
- ⑥ 水辺環境の整備
- ⑦ 水共生の取組\*の推進

\* 水共生の取組:「水と共に生きる」という理念の下、河川や下水道の整備、雨水貯留タンクや浸透ますの設置など、さまざまな水問題の解決に向けた取組